



# Update note

**G-Oral Scan2/Aoralscan3 - V3304 release note**

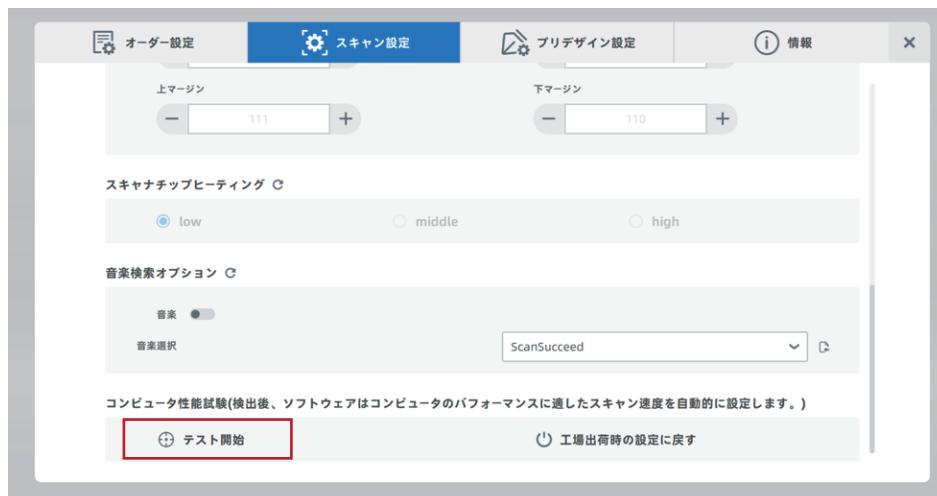
\* G-Oral Scan2/Aoralscan3 のみ対応 (G-Oral Scan/Aoralscan2 非対応)

## ① PCのパフォーマンスチェック

使用しているPCの機能、パフォーマンスに応じてスキャン速度が自動設定されるようになった

画面表示の処理速度等のパフォーマンスが低い場合、それに合わせてスキャン

→ 画面表示の速度も更新されるため、よりスムーズなスキャンが可能になった

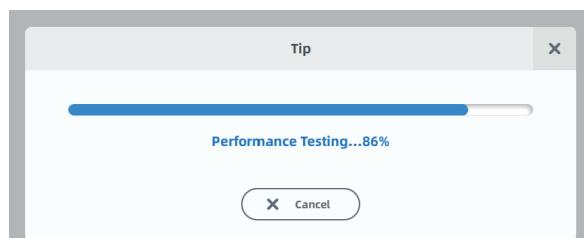


## パフォーマンス診断の例

性能不足の例



最適例



## ② Nvidia RTX40 シリーズ対応について

V3304 では、新たに

- RTX4060
- RTX4070
- RTX4080

以上の型番が製造元での試験を終え、使用可能になった

\* **RTX4050** に関しては、前述した PC に対するパフォーマンス、スキャンスピードへの負担が大きいため、推奨していない

## ③ スキャンボディのマッチング

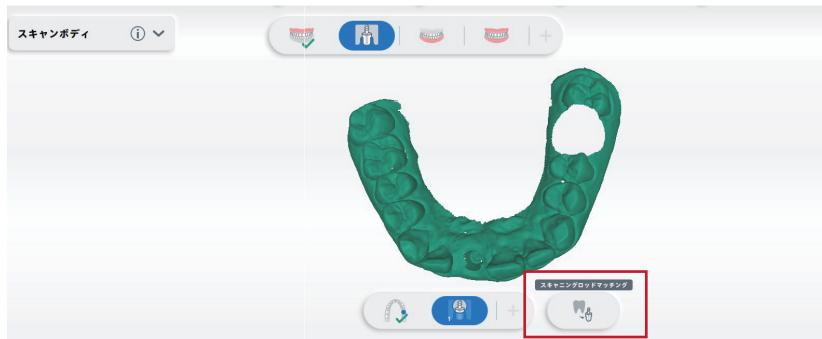
各社ライブラリーのインプラントシステムに合わせたスキャンボディを  
スキャン画面上でマッチングすることが可能になった

ライブラリー保存先の指定はないが、**クラウド上へのダウンロード**はインターネット環境に依存するため、推奨していない

\*Geo ライブラリー以外のライブラリーについては各メーカー様へ問い合わせる



## スキャンボディのマッチング（流れ）



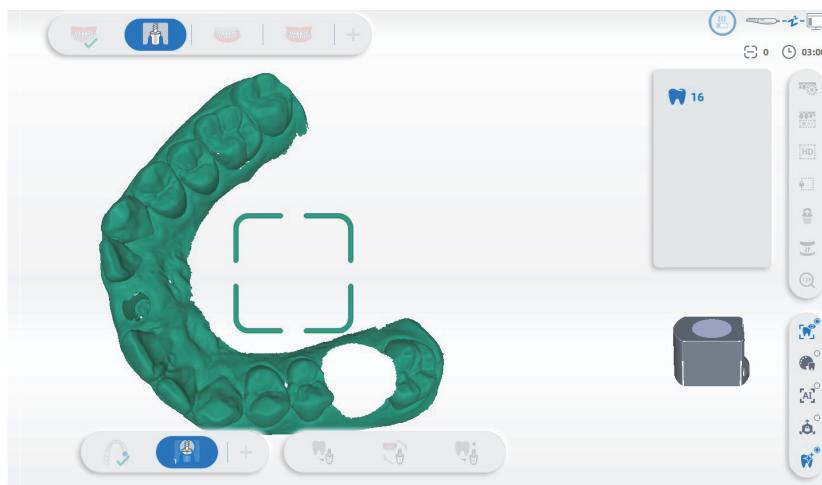
スキャンボディのスキャンで穴を開けた後、  
「スキャンロッドマッチング」をクリック



赤丸のフォルダー選択から、  
自分が保存しているライブラリーを選択し、  
ソフトウェアへ持っていく

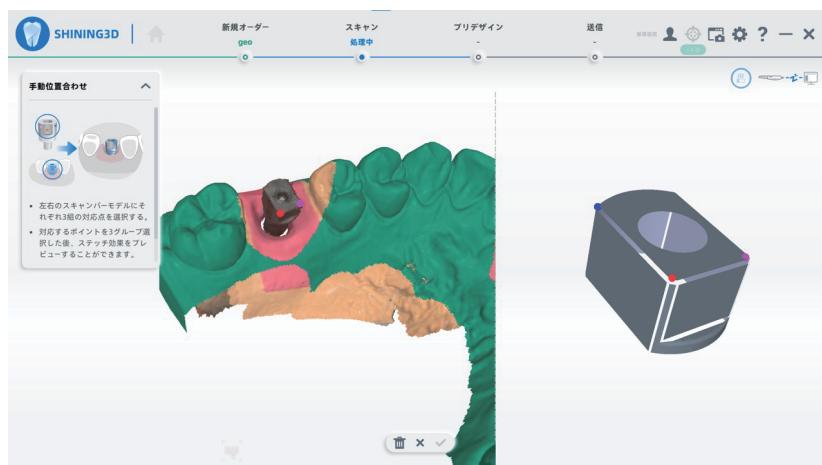
カンパニー : メーカー名  
インプラント : 使用するシステム名またはコード

\*タイプ、アタッチメントの詳細については  
各メーカー様へ問い合わせる



システムを選択すると右下にSTLが出現する

スキャンを進めてデータが集まると  
自動でマッチングが開始する



手動で3点によるマッチングも可能だが、  
あくまで手動での位置合わせのため、  
自動マッチングの方が精度は優れる

## ④ TEC ( 仮歯 ) の製作について

オーダーの診断模型スキャンで「はい」を選択すれば、プリデザイン時に「CreTemp」から TEC 製作へ進める

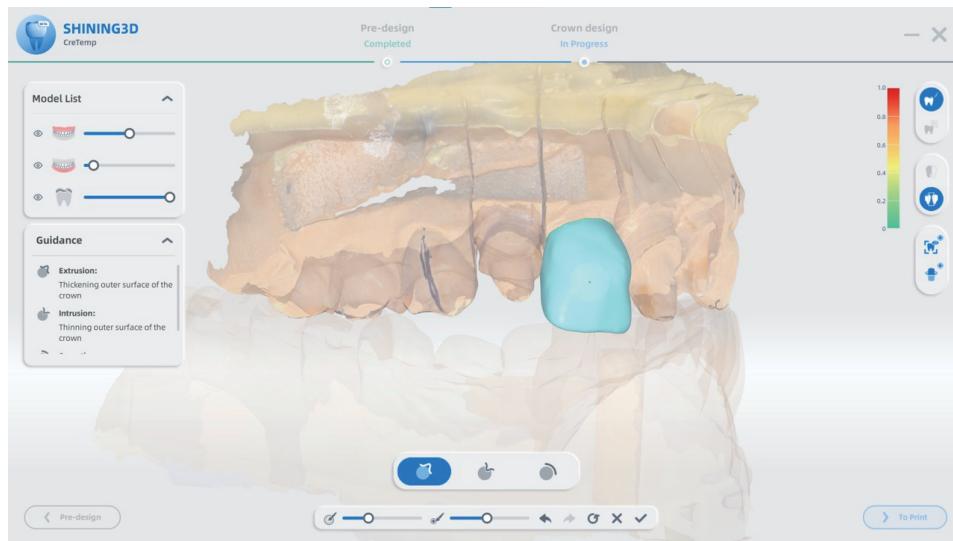
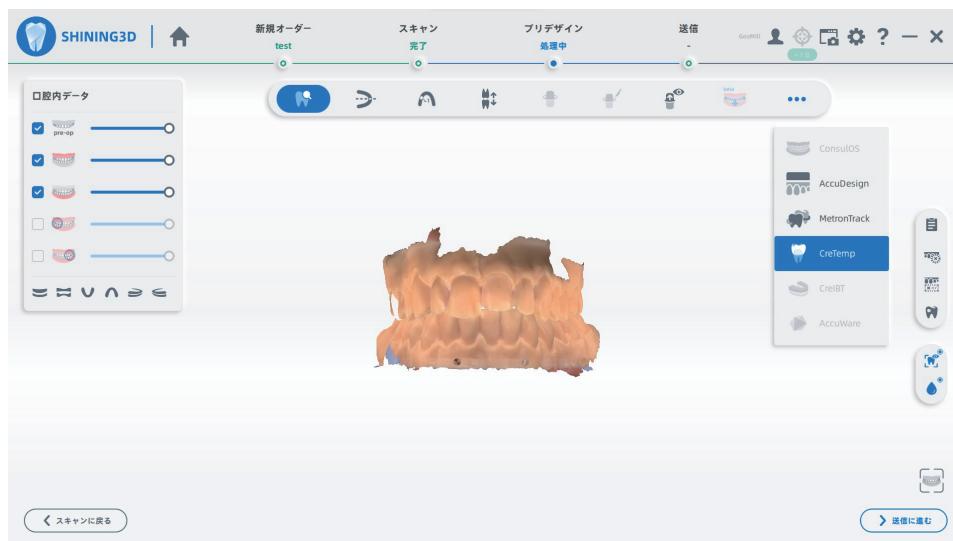
マージンラインの設定

挿入方向

フリーフォーム

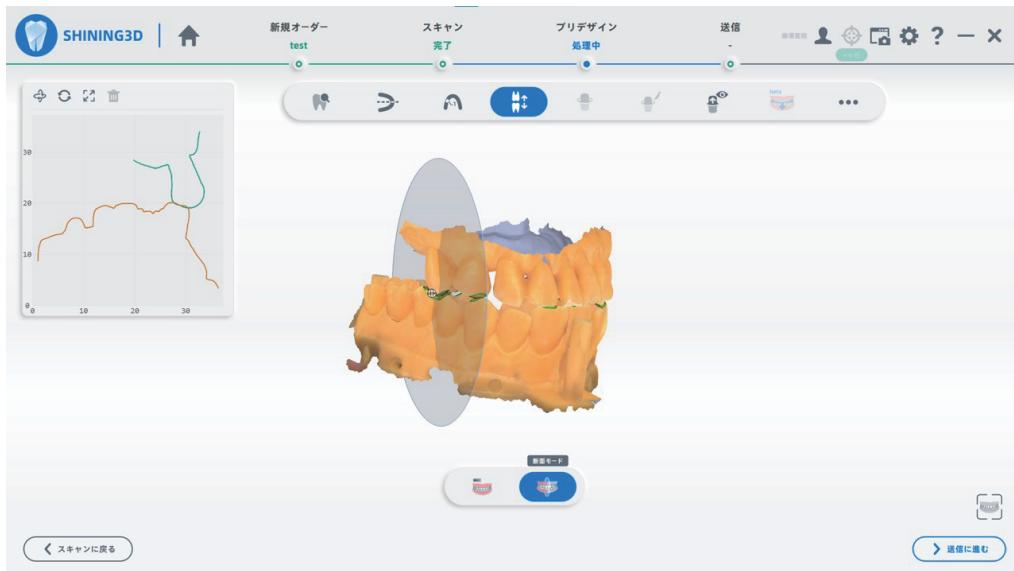
各作業をガイダンスに沿って進めてる

デザイン後は AccuWare ( プリント用ソフト ) に進んでそのままプリントが可能 \* STL としての排出は不可能



## ⑤ 咬合断面図の確認

プリデザイン上で 断面図として確認が可能になった



## ⑥ バイトスキャン精度向上

バイトスキャン時に、「噛み合わせの最適化」というボタンが追加された  
マッチングのズレがある場合に有効

